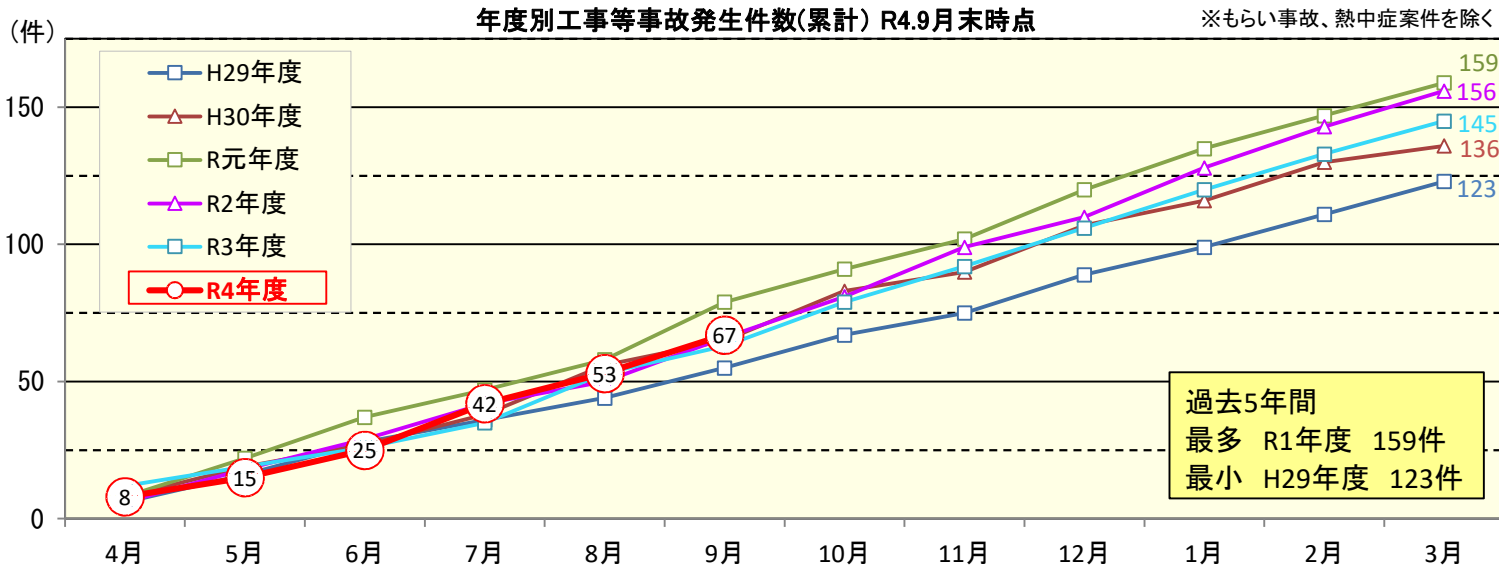


## 上半期の事故発生状況（速報値）

令和4年度上半期（4月～9月）は、近畿地方整備局管内直轄工事等で過去5か年で2番目に多い67件の事故が発生しました。

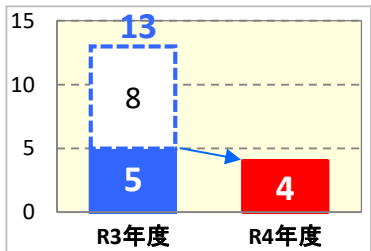


令和4年度は、7月に多数の事故が発生した結果、**上半期の事故発生件数は67件**となりました。

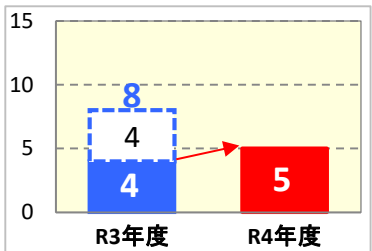
死亡事故は発生しませんでした。作業員がバックホウのキャタピラーに足を挟まれたり、肩掛け式草刈り機の刃が別の作業員に接触する事故が2件発生するなど工事関係者が負傷する事故が多数発生しました。重機や機械の危険性を再認識し、使用するときには常に安全に配慮しましょう。

## 令和4年度工事等事故防止重点対策5項目の発生件数(速報値)

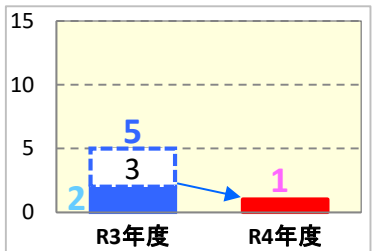
地下埋設管及び敷設ケーブルに対する事故



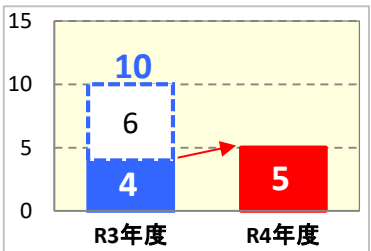
架空線に対する事故



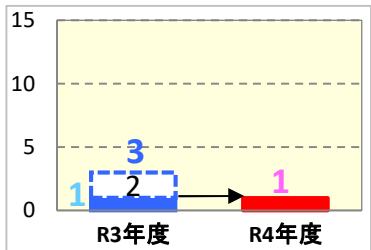
高所作業箇所からの墜落事故



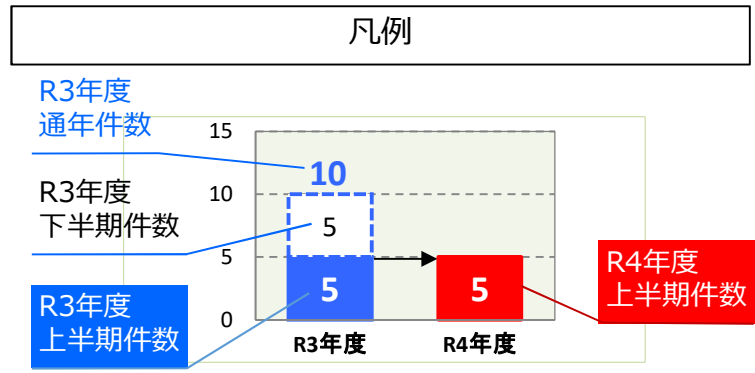
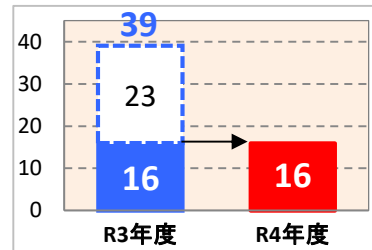
重機による施設及び作業員等との接触事故



資材・仮設材及び工具の飛来落下による事故



重点対策5項目全体



重点対策5項目全体では昨年度上半期と同件数ですが、**架空線事故及び重機接触事故が増加**しています。特に重機接触事故はH30年度の0件が、R元年度10件、R2年度8件、R3年度10件と近年多く発生しており、今年度も上半期だけで5件発生し、高い発生件数となっています。重機への接触の恐れのある作業では、接触・重機転倒を防止するため、必要な作業手順を周知・徹底しましょう。

**工事現場は危険がつきものです。**

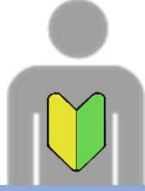
**だからこそ、ひとりひとりが責任ある行動をとることが大切です！**

# 防ごうヒューマンエラー ～ヒューマンエラーの12の原因～

ヒューマンエラーとは、思い違いや失敗によって、意図していないにも関わらず、不都合な結果をもたらす行動のことをいいます。まずはヒューマンエラーがなぜ起こるのか、その原因を知って、ヒューマンエラーが起きにくい仕組みや環境をつくりましょう。

## 無知、未経験、不慣れ

思い込み  
知識不足



経験不足  
理解不足

## 危険軽視、慣れ

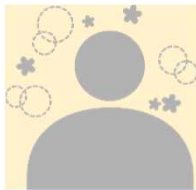
安易な行動  
「危険」への意識の低下



能力の過信  
リスクを楽観視

## 不注意

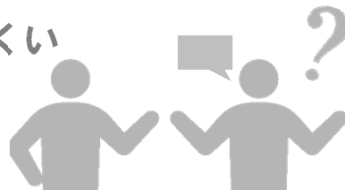
注意力散漫  
注意力不足



集中の継続によるエラー

## 連絡不足

指示が分かりにくい  
説明不足



指示があいまい  
情報が多すぎる

## 集団欠陥

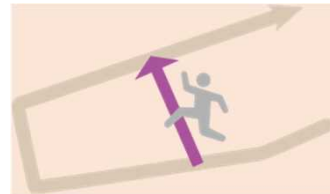
現場全体の雰囲気



安全よりも効率を優先

## 近道・省略行動本能

決まり事を守らない  
横着



手抜き  
行動の簡素化

## 場面行動本能

目の前のことに必死になり、他の事柄を忘れる



## パニック

想定外  
突然の恐怖



プレッシャー  
極度の不安

## 錯覚

聞き違い  
見間違い



独自の解釈  
ど忘れ

## 中高年の機能低下

認識力の低下  
体力の低下



記憶力の低下  
身体機能の低下

## 疲労等

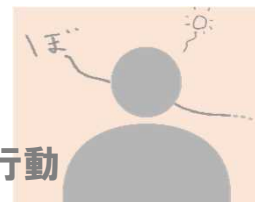
長時間労働  
睡眠不足



精神的疲労  
炎天下の作業

## 単調作業等による意識低下

反復によるエラー  
惰性による行動



集中力の欠如  
ボンヤリ

ヒューマンエラーは起こり得るものと考え、ヒューマンエラーが発生する可能性を出来るだけ下げることが大切です。